

## 箕面市立人権文化センター指定管理者候補者選定会議 議事概要

### 1. 会議の開催状況

- (1) 開催日時 平成26年9月30日(火)午後1時から4時まで
- (2) 開催場所 箕面市役所 本館2階 特別会議室
- (3) 出席者 濱田徳美(人権文化部長)【会長】、  
宇治野清隆(総務部長)【副会長】、  
木村 均(子育て政策統括監)、  
柳原健治(公認会計士・税理士)、  
足立君子(有識者・桜ヶ丘人権文化センターのみ)、  
高田一宏(有識者・萱野中央人権文化センターのみ)
- (4) 事務局 人権文化部次長・半沢、人権文化部人権施策推進課長・江口、  
同課長補佐・寺島、同課担当主査・梶

### 2. 議事概要

#### A. 桜ヶ丘人権文化センター

- (1) 当日スケジュール及び評価等について  
事務局より下記のとおり説明を行った。
  - <当日スケジュール>
    - 1. 応募者によるプレゼンテーション(15分)
    - 2. ヒアリング(15分)
    - 3. 採点、集計
    - 4. 合議による選定
  - <採点方法>  
応募書類及びプレゼンテーション・ヒアリングの内容を踏まえて採点する。評価者一人あたりの持ち点は300点とする。
- (2) リリーフ・みのおの提案内容プレゼンテーションについて  
応募者であるリリーフ・みのおよりプレゼンテーションが行われた。
- (3) ヒアリングにおける主な質疑について

- (質問) 母子父子家庭支援の構想や、関係機関との協議状況を教えてほしい。
- (回答) サロンの交流の場から始めて、自助共助のしくみづくりも含め、協議を進めている。
- (質問) 在宅育児の支援方策について、西部地区には現在、子育て支援センターがないが、そのような取組は可能か。
- (回答) 相談相手がいない方の支援をしたい。行政や民生委員児童委員協議会とも、今後協議をしていきたい。
- (質問) 様式2の財務書類で平成24年度欠損金の原因は何か。
- (回答) 前受金・未収金・未払金が翌年に繰り延べされていたため。今後は、帳簿をしっかりと点検していきたい。
- (質問) この5年間で人件費・光熱水費が増加した理由は何か。
- (回答) 人件費は、前館長が病気休暇を取得したため、変動があった。光熱水費については、猛暑による冷房の利用増と、交流スペースの活用を図ったことによる空調・照明等の経費増によるもの。
- (質問) 地域イベントで土日出勤があるが、代休の取得状況はどうか。
- (回答) 交代制で代休を取得している。夜間は特に残業していない。地域イベントの際には櫓を組んだり道路清掃もしているが、これにはセンター職員以外の当団体会員が携わっている。
- (質問) 育児・介護休暇制度の創設についてはどうか。
- (回答) 現在、必要とする職員はいないが、ニーズが出た場合は配慮していきたい。有給・無給について今は判断できないが、人事院の手引きなどを参考に規定を作りたい。
- (質問) 提案金額が現行に比べて上がっているが、事業を拡大しても経営努力でこれを下げることにについて協議できるかどうか、見解をききたい。
- (回答) 人件費を上げているが、5年かけて戻す内容になっている。人員交替の過渡期でもあるが、人件費が多すぎるなら協議に応じたい。

#### (4) 団体Aの提案内容プレゼンテーションについて

応募者である団体Aよりプレゼンテーションが行われた。

#### (5) ヒアリングにおける主な質疑について

(質問) 設立当初の赤字決算の理由を教えてほしい。

(回答) 人権団体から出資を受け、その団体の事業受託もしてきた。出資金の性質上赤字になっているが、1・2年目ともプラス計上である。今年度は生活困窮者自立支援事業などを受託しており、十分、黒字になる予測である。我々の関連団体として16の社会福祉法人があり、その連

携事業の事務局を担う予定なので、来年度も安定した収入を得られる。

- (質問) 設立時の社員として団体Bとあるが、その概要を教えてください。
- (回答) 西成区を中心に社会的排除されている弱者の就労・生活支援をしている団体だが、マンション経営を含めて年間数億円の売り上げがある。
- (質問) 保育・療育・子育て支援といろいろ述べられているが、どれも専門性が高く、行政ではそれぞれ一つの課がある業務だが、どんな人材を有し、どんな開催方法を考えているのか。
- (回答) まず、ワンストップの形で、初動対応でしっかり受け止め、助言を要すればタイムリーにつなぎたい。経験上、働くこと以外の悩みもあることが多いが、伴走型で自立応援していきたい。団体Cの助言を得られる体制もある。
- (質問) 伴走型の相談支援は外出する必要があるため、人員体制面で施設管理との両立が難しいのではないかと。
- (回答) 施設管理の経験はないが、さまざまな資格・経験をもつスタッフがおり、もともと就労支援団体なのでフォローアップ体制は大丈夫である。また、館長には行政経験者を配置することを考えている。
- (質問) 従来の地域交流の実績を踏襲されるのか、伺いたい。
- (回答) 先般、盆踊りに参加させてもらった。年代を問わず地域一体となったすばらしい取組だと感じている。また、講座等の充実についても、図書館・いこいの家のほか、地域団体とぜひとも連携させてほしいと考えている。したがって、5年間で段階的に対話を進め、従来の関係に波風を立てず、継承していきたい。
- (質問) ひきこもり支援はなかなか難しいと思うが、どうされているか。
- (回答) まず、しっかり情報収集を行い、選択肢をできるだけ多くする。行政と連携して、提示できる支援メニューの確立をめざしたい。
- (質問) 行政関係者の配置という話が出たが、苦情処理なども含めてノウハウがあると考えてよいか。
- (回答) 相談のノウハウがあるほか、萱野の指定管理者のサポートも受けることで対応できるよう考えている。
- (質問) 伴走型支援に携わる人員以外で、施設管理体制を組めるか。
- (回答) 当団体から1～2名の応援体制を組める。今回の提案を押しつけるわけではなく、地域の要望に沿って、行政とも協議して、接着剤になれるよう事業実施していきたい。

#### (6) 各評価者の主な意見

- ・ 団体Aの実績は就労相談のみであり、施設管理の実績はない。また、地域性に即した事業提案が弱い。

- ・ リリーフ・みのおは、未整備の規則等についても、今後定めようという意欲が認められる。

(7) 選定会議としての結論

応募書類、プレゼンテーション・ヒアリングに基づき評価した結果、評価点数は下記のとおりとなった。

リリーフ・みのお	評価点数	1, 004点	／	1, 500点
	(構成員平均)	201点	／	300点
団体A	評価点数	812点	／	1, 500点
	(構成員平均)	162点	／	300点

上記点数に基づき判断した結果、リリーフ・みのおが箕面市立桜ヶ丘人權文化センター指定管理者候補者として適任である。

## B. 萱野中央人權文化センター

(1) 当日スケジュール及び評価等について

事務局より桜ヶ丘人權文化センターと同様の説明を行った。

(2) 暮らしづくりネットワーク北芝の提案内容プレゼンテーションについて  
応募者である暮らしづくりネットワーク北芝よりプレゼンテーションが行われた。

(3) ヒアリングにおける主な質疑について

(質問) 財務書類の損益計算書において、過年度損益修正などが散見されるが、その内容を教えてほしい。

(回答) 内容の詳細についての資料は持ち合わせていない。

(質問) いずれにせよ、少なくなるようにすべきだと思う。経理と監査の担当者が同じだと不正も起こり得る。

(回答) 経理と出納担当は別の人間が行っている。また、外部監査による普通預金の残高確認を毎月行っている。

(質問) 特別提案で、学校園所との連携にふれられているが、従来以上の何かを考えられているのか。

(回答) 地域教育の充実のため、総合学習での連携や、校区外も含めて小学生が部落と出会う取組を進めたい。また、図書コーナーの夜間開館にふれているのは、夜間の1階を明るくすることで、センター利用によい

効果が得られると考えるため。

- (質問) 例えば子育て支援センターも含めるなど、指定管理の範囲を拡大する場合に対応できるか。
- (回答) 今でも子育て支援センターとは連携しており、鉄道延伸に伴う施設再編などでそういう計画があるなら、ぜひ考えたい。
- (質問) 指定期間 10 年との提案だが、このうち 5 年でできるものは何か。
- (回答) 市民サービスは予算を増やさずに向上させたいが、5 年では困難なものもある。喫茶や「まーぶ」を使ったハローワークは可能。指定期間 10 年としたのは、特に貧困家庭の子どもの見守りなどを長いスパンで行う必要があるため。
- (質問) 指定期間 10 年とする提案の根拠と、人件費について教えてほしい。
- (回答) 経営努力で人件費を抑え、また、学生・市民サポーターを募集することにより、これによって人員増を図りたい。
- (質問) 施設老朽化への対策について知りたい。
- (回答) 視聴覚室の機材が使えないが、最近パソコンを使う持ち運び用プロジェクターの利用が一般的なので、元に復旧する必要はなく、ニーズに合わせて対応したい。

#### (4) 各評価者の主な意見

- ・ これまでの評価員合議の結果は良好である。
- ・ 安定的な長期経営のために、今後も協議を続けることが必要である。
- ・ なお、財務書類の詳細については補足資料を求める。  
(過年度損益修正理由、自己資本比率訂正の文書が後日提出された。)

#### (5) 選定会議としての結論

応募書類、プレゼンテーション・ヒアリングに基づき評価した結果、評価点数は下記のとおりとなった。

評価点数            1, 126点 / 1, 500点  
(構成員平均            225点 / 300点)

上記点数に基づき判断した結果、暮らしづくりネットワーク北芝が箕面市立萱野中央人権文化センター指定管理者候補者として適任である。